

★★★
高所登山

初の海外高所登山におすすめ。東南アジア最高峰へ！

ゆったりキナバル山(4,095m)登頂 6日間

4名から催行

マレーシア

2014年 2月17日(月)～2月22日(土)／4月7日(月)～4月12日(土)

旅行代金 248,000円 新千歳発着

旅行代金 218,000円 成田発着

※その他の空港発着についてはお問い合わせ下さい

●新千歳・成田から2名様より手配可能な「キナバル登頂5日間」もあります(毎週木曜出発)。詳しくは p.28 をご覧下さい。

〈利用予定航空会社〉マレーシア航空、大韓航空、日本航空など
 〈利用予定ホテル〉コタキナバル／ハイアットリージェンシー、ノボテル、シャングリアダウタウン キナバル山中／ラバンラタ、グンティンラガダン、ワラスハットまたは同等クラス ※山中は山小屋泊になります。
 〈食事〉朝5回・昼4回・夕3回 〈最少催行人数〉4名
 〈1人部屋追加料金〉18,000円(山小屋は除く) 〈添乗員〉4～7名様の場合は現地係員がお世話します。8名様以上は新千歳空港から全行程同行します。

■査証／不要 ■パスポート残存有効期間／入国時6ヶ月以上
 ■燃油サーチャージ・空港諸税は別途申し受けます
 (目安:29,000円 ※2013年9月現在)
 ●お申し込み期限について: 山中の山小屋は完全予約制のため、できるだけ、
 10月31日までに申し込み下さい。

Point

- 1 山小屋2泊のゆとりの行程。登頂後は山小屋で疲れを癒し、翌日下山します
- 2 ボーターに荷物を預けて軽荷で登山(預けるkg量によって料金別途)
- 3 下山はコースを変えてマシラウルートへ
- 4 最終日は無人島のビーチへ。美しいサンゴ礁や熱帯魚を見て、山だけでなく南国の海も満喫!

世界遺産



▲朝日に染まるキナバル最高峰ロウズピークを目指して

赤道直下の大自然を楽しもう!

赤道直下のボルネオ島北端にあるマレーシア・サバ州は、熱帯雨林に包まれた動植物の宝庫です。東南アジア最高峰・キナバル山(4,095m)をとりまくキナバル国立公園は、世界自然遺産に登録されている自然のサンクチュアリ。異国情緒あふれる4000m峰への登頂です。コースはよく整え、備されていますが、登頂日は標高差約800mのアタックとなります。登山中は、多様性に富んだ自然景観や熱帯地方の珍しい植物、ランやウツボカズラなどが見られるでしょう。下山後、サンゴ礁が美しい無人島で過ごすプチリゾートもお楽しみに!



◀登山道でよく目にする食虫植物のウツボカズラ

ロウズピーク(4095m)

ギナバル山登山地図



都 市	行 程	食事
1 新千歳 成田 コタキナバル	(午前)新千歳→(午後)成田→(夜)コタキナバル 着後、ホテルへ。 【コタキナバル泊】	一機
2 コタキナバル 公園事務所 ティンボボン 登山口 山小屋	朝食後、専用車でキナバル国立公園の公園事務所PHQ(パーク・ヘッド・クォーター)へ。 登山ガイド、ボーターと合流後、小型車に乗り換え、ティンボボン登山口(1867m)へ。いよいよ登山開始。熱帯雨林のジャングルの中、整備された登山道を登り、標高3300m地点の山小屋へ。 ●歩程4～6時間 【山小屋泊】	朝食 夕
3 山小屋 サヤサヤハット ロウズピーク 山小屋	条件が良ければ未明にヘッドランプを点けて山小屋を出発。ご来光を目指します。最後の小屋サヤサヤハット(3668m)を経て、花崗岩のスラブ帯から稜線を進み、キナバル山最高峰ロウズピーク(4095m)に登頂。山頂で朝焼けと360度のパノラマを楽しんだ後、往路を下山します。 ●歩程:登り約4時間・下り約2時間 【山小屋泊】	朝食 夕
4 山小屋 マシラウ登山口 コタキナバル	早朝出発。往路を下り、ラヤンラヤンより植物が豊富なマシラウルートへ。ウツボカズラやランなどを見ながらマシラウ登山口(2000m)へ下山。下山後、昼食と登頂証明書の授与。その後、専用車でコタキナバルへ。 ●歩程6～7時間 【コタキナバル泊】	朝食 夕
5 コタキナバル 無人島 コタキナバル	終日、無人島(コラルビーチ)にてフリータイム。シュノーケル(無料)、パラセーリング(有料)など各種マリンスポーツをお楽しみ下さい。 【コタキナバル泊】	朝食 機
6 コタキナバル 成田 新千歳	朝食後、空港へ。 (朝)コタキナバル→ (午後)成田→新千歳	朝食 機

※歩程は休憩などを除いた実質歩行時間の目安です。

※2日目昼食はお弁当。3、4日目の朝食はお弁当になる場合があります。



▲岩場のトラバースもあります。下りは慎重に



▲稜線は一面に岩場が広がる大スラブ帯。雲海を見下ろしながら頂上へ



◀マシラウルート
の展望台より
望む岩塔群のパノラマ